

～鹿追町小中高一貫教育に おける環境学習～ 「進め！ 笹川環境探検隊」

鹿追町立笹川小学校（第10回 環境美化教育優良校等表彰事業 特別賞受賞校）

笹川小学校は北海道の東部十勝管内帯広市の北西部に位置しています。北には大雪山系の山々と然別湖、西には日高山脈がそびえています。笹川小学校がある鹿追町では、町内の全学校が文部科学省の研究開発学校として指定を受けています。

その指定を受け、小中高一貫教育として小中高が連携して地球規模で課題となっている環境問題を正しく理解するとともに、児童生徒の自然観や人間観を育む教育を推進しています。同校でもその指針に沿って、学校独自の授業を含む地球科授業やカナダ学（英語教育）、環境学習に積極的に取り組んでいます。



学校独自の地球科の授業風景。児童たちも真剣に話を聞いています

「地球科」における環境学習

地球科では、様々な環境学習を実践しており「進め！ 笹川環境探検隊」と称して、平成21年度にバードハウスについての学習や、川の自然観察環境学習、町内環境関連施設の見学などを行いました。

バードハウス作りでは、NPO法人 フェザードフレンドの方々や保護者にバードハウスの制作から設置にいたるまで協力していただきました。児童たちは「ぼくのバードハウスにも、鳥が来てくれるかな？」「鳥が喜んでくれるといいな」など豊かな想像力を働かせ、楽しみながら取り組みました。

単に野鳥の保護や観察という観点だけではなく、この学習を通して森林の保護、自然景観の保全、環境問題、リサイクルなどを考える良い機会になっています。また、児童が一生懸命に制作したバードハウスに野鳥がくるところを見ることで、喜びや自然に対する興味を持つことが出来ています。





川の危険や安全指導を受けたあとに水質調査や水生生物の調査をします

また、川の自然観察環境学習では、学校の近くを流れる然別川の水質調査や水生生物調査を帯広市開発局の方々の協力を得て行いました。たくさんの水生生物を見つけるとともに、水質調査では透明度1m以上のきれいな川であることが分かりました。児童たちは、自分たちが住んでいる地域を流れる川が望ましい環境であることを知り、喜ぶとともに、素晴らしい環境を維持していくことの大切さを学ぶことができています。

恒例行事になっている環境美化活動

笹川小学校では、環境学習に力を入れて取り組むとともに、環境美化活動も積極的に展開してきました。

公務補の高橋さんが手塩にかけて育てて下さっている2000株以上の花の苗を、全校児童の手で小学校の花壇や、地域の特別養護老人ホーム「しゃくなげ荘」の花壇へ植える取り組みや、学校敷地内のゴミ拾いをしたりする奉仕活動は、どちらも本校の恒例行事となっています。また、児童と保護者が一緒になって学校中の窓拭きや清掃活動、空き缶回収を行う親子環境美化活動も、保護者や地域の方々の協力を得て行っており、どれもすでに10年以上の取り組みとなっています。

環境学習や美化活動を児童たちが体験することで自然との関わりを学び、教育方針でもある「生き生きと学び、自分の思いを表現できる児童の育成」に繋がっています。



窓拭きや清掃、遊具の補修など協力して行っています



今年、しゃくなげ荘では、ダリアやマリーゴールド、サルビアを植えました

【学校情報】※平成22年1月現在 北海道鹿追町立笹川小学校

◆住所

北海道河東郡鹿追町笹川北9線10番地31

◆学校長：伊藤義一

◆児童数：17名

◆創立：大正3年7月15日

